

喜多院探訪コース

川越駅より 歩行距離 約2.9km
所要時間 約58分

本川越駅より 歩行距離 約2.1km
所要時間 約42分

施設の見学時間は含みません

喜多院の境内を巡り、四季折々の植物にふれ、五百羅漢や文化財などを見学するコースです。

シーズン：通年
移動手段：徒歩

4 書院



庫裡正面の坪庭を右に折れたところにあります。12畳と8畳の部屋が各2室ずつあり、8畳の部屋は3代将軍家光の乳母として名高い「春日局化粧の間」と伝えられています。

5 五百羅漢



ユーモラスなぐさの羅漢が並んでいます。538体の羅漢たちの中央にあるのは釈迦如来と両側の普賢菩薩・文殊菩薩です。

2 庫裡



寛永の大火(1638年)で焼失した後、徳川家光の援助により再建されました。当時建てられた堂塔のほとんどが国、県の文化財であり、種々の樹木とともに四季を通じて人を引きつけています。

3 慈恵堂(じえどう)



喜多院の本堂は延暦寺第18代座主、慈恵大師良源(りょうげん)を祀るもので、「慈恵堂(じえどう)」が正式名です。耳を澄ませると波の音が聞こえるという言い伝えから「潮音殿」の異名もあります。

6 慈眼堂(じげんどう)



慈眼大師天海を祀ったお堂で、3代将軍家光の命によって建立されたといわれています。108歳で亡くなる直前の姿を写した天海僧正の木像が安置されています。



慈眼堂の正面を下り、まっすぐ行くと鐘楼門があります。2階建てで階上に鐘が吊られています。国指定重要文化財。



自然の豊かな杜で、庭園中央、巖島神社の周囲では季節になるとアジサイが咲き乱れます。6月～7月にはホテルが見られることも。



家康の遺骸を久能山から日光に移葬した際、喜多院で法要を行った天海僧正によって創建され、日光・久能山とともに日本三大東照宮といわれています。国の重要文化財に指定されています。



喜多院の正面に位置し、国指定の重要文化財となっています。向かって右側にある番所は県の文化財に指定されています。

川越駅	本川越駅
約1.8km 徒歩約36分	約1km 徒歩約20分
1 山門	徒歩約2分
2 庫裡	徒歩約2分
3 慈恵堂	徒歩約4分
4 書院	徒歩約4分
5 五百羅漢	徒歩約2分
6 慈眼堂	徒歩約2分
7 鐘楼門	徒歩約2分
8 葵庭園	徒歩約4分
9 仙波東照宮	徒歩約4分

入館料、開館時間、定休日等は、各施設にお問い合わせ下さい。

市街地エリアで通年楽しめるコース